

東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第3回）

次 第

令和5年2月13日（月）

午後1時30分～午後3時30分

都庁第一本庁舎21階 海区委員会室

1 開会

2 議事

（1）懇談会でのご意見を踏まえた令和5年度の展開について

東京の水産業振興に向けた専門懇談会委員名簿

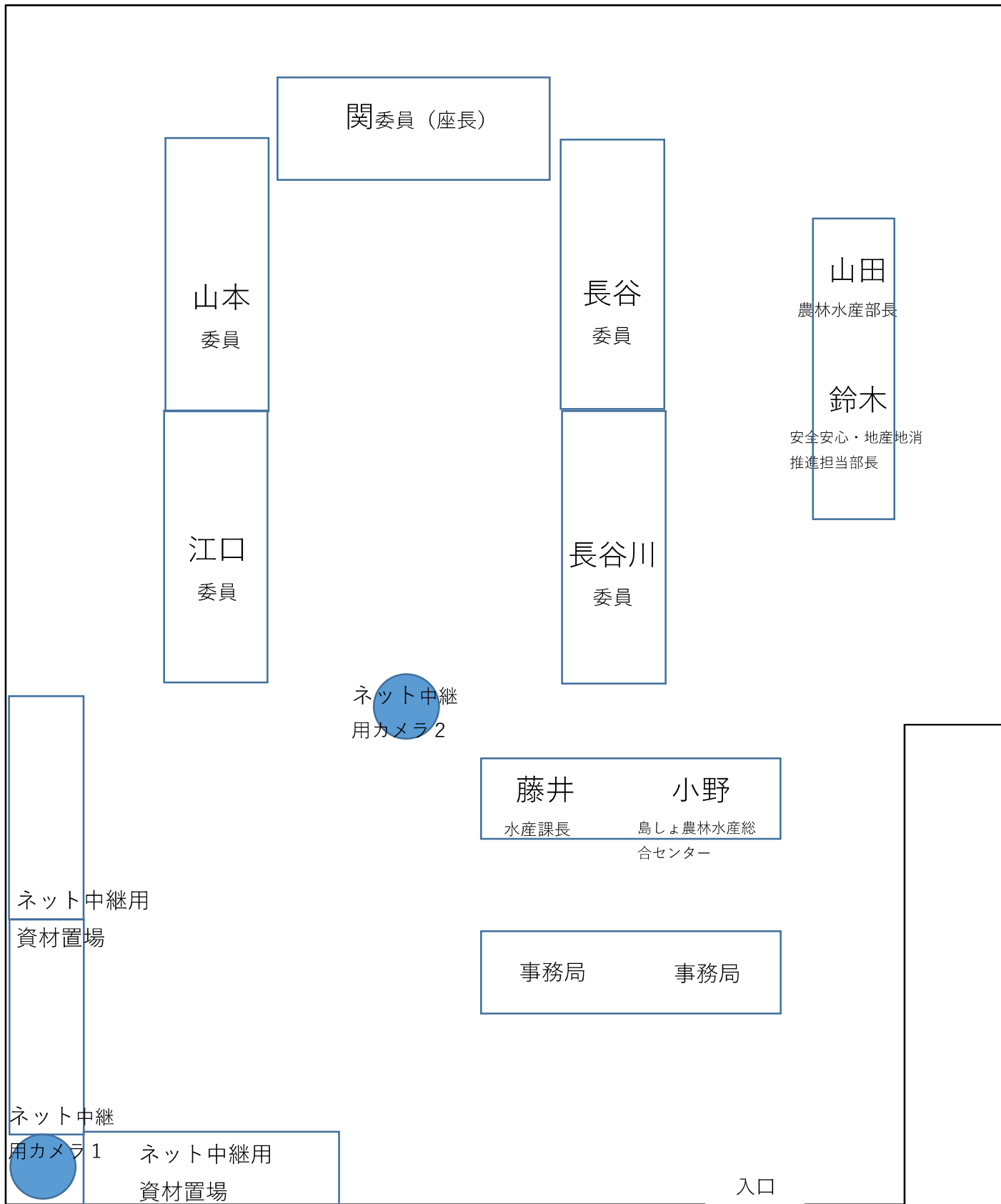
(五十音順、敬称略)

氏 名	役 職 名	備 考
江口 慎一	(株) 轍 代表取締役	
関 いずみ	東海大学人文学部 教授	
長谷 成人	(一社) 東京水産振興会 理事	
長谷川 琢也	(一社) フィッシャーマン・ジャパン 事務局長	
山本 圭一	NTTコミュニケーションズ株式会社 ソリューション&マーケティング本部 事業推進部 地域協創推進部門 担当部長	

東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第3回） 座席表

令和5年2月13日（金）午後1時30分開会

都庁第1本庁舎21階 海区委員会室



令和5年度の主要な水産業振興施策

海洋環境など水産業を取り巻く変化等にも柔軟に対応し、東京の水産業を着実に振興するため、専門家からのご意見を参考に、以下の施策に取り組んでまいります。

1 DX分野

主な対策・取組

漁業・養殖業のDX推進	➤ 荷捌き作業の省力化 ・ 漁協へのシステムの本格導入に向け、試験導入したシステムの効果を検証
	➤ 操業情報の収集体制構築 ・ 操業情報の収集システム（デジタル操業日誌）を導入し、資源管理の精度を向上
	➤ 内水面養殖業のスマート化 ・ AI搭載型自動給餌機等の効果を実証し、民間事業者に展開
	➤ 海況予測システムの普及 ・ 漁業者ニーズを踏まえたバージョンアップを図り、システムを普及



自動給餌機(イメージ)



海況予測システム(イメージ)

2 環境保全(資源管理)分野

主な対策・取組

資源管理の推進	➤ 漁業操業情報の収集体制構築（再掲） ・ 漁船に操業情報の収集システムを導入し、資源管理の精度を向上
	➤ キンメダイ漁業の許可制等の導入 ・ 制度の導入を国に要請
	➤ 資源管理強化に伴う漁業経営への影響緩和 ・ 漁業共済掛金の助成により制度への加入を促進、漁業収入減少のリスクを軽減
	➤ 島しょ農林水産総合センターの体制強化 ・ 研究等の体制を強化し、新たな資源管理や環境変動等への課題に対応
栽培漁業の推進	➤ 栽培漁業センターの機能強化 ・ 藻場の再生や新たな魚種の生産に対応できる施設へのリニューアルを検討
気候変動への対応	➤ 海藻類の増殖手法の調査・検討 ・ 藻場の造成等に向け、海藻類の増殖手法を調査・検討



新たな魚種の種苗生産



海藻類の増殖手法の調査・検討

3 人材育成分野

主な対策・取組

担い手の確保・育成

- ▶ **東京漁業就業支援センター（フィッシャーズナビ）の運営**
 - ・ 漁業就業情報等の発信強化、地域と連携した育成や定着のしくみづくり等により、就業希望者の募集から定着、中核的漁業者となるまでをトータルで支援



漁業研修

女性等の活動支援

- ▶ **交流活動等への支援**
 - ・ 女性部、青年部の活動支援により活動への参画や他地域との交流を促進
- ▶ **加工品・特産品づくりへの支援**
 - ・ 商品の企画開発、量産体制の整備、販路開拓等に関する経費を助成



水産加工品開発

4 ブランド化分野

主な対策・取組

魚価の向上

- ▶ **東京産水産物のPR**
 - ・ 小売店でのフェア展開やSNSイベント等を通じ東京産水産物の魅力をPR
 - ・ 生産現場へのバイヤーツアー（商談会）の開催 など
- ▶ **海外販路開拓支援**
 - ・ 漁業生産者団体が実施する海外販路開拓の取組を支援
 - ・ 流通・販売のプロを生産現場に派遣し水産物の鮮度保持や品質管理等の技術を指導
- ▶ **加工品・特産品づくりへの支援（再掲）**
 - ・ 商品の企画開発、量産体制の整備、販路開拓等に関する経費を助成



鮮度保持講習会



海外での販路開拓

